

環境活動レポート

2008年度 第13期(平成20年3月～平成21年2月)



DLoFre's【ドローフーズ】[造語]

Dream・Love・Freedomの頭文字からつくった造語。都田建設の家づくりを通じて、つながりを深めることで広がる人生観とそこから生まれる活動。夢・愛・自由を持つ(のある)モノ・コト・ヒトを指す。家づくりという夢を叶えてほしい、自由な家づくりをしてほしい、家づくりを通して出会う人々から愛を感じて欲しいという想いがつまっている。

平成21年5月31日作成

1【2008年度版】

環境方針

環境理念

「青い地球を永遠に」

Dlofre's Eco Project

人間と地球の共存があって、はじめて人間は幸せを追い求める事が出来る。
全ては地球を大切に作る心から企業活動を行います。都田建設は住まい作りから始まるライフスタイル提案企業として、地球と人、人と人の持続可能なつながりを目的に環境危機の解決、満ち足りた幸せの実感づくりに向けて実行する 企業を目指します。

環境保全への行動指針

- 1) 環境関連法令、条例を遵守の上、企業活動を実行します。
- 2) 環境目標・活動計画を定期的に見直しを行う。また、継続的に環境改善を実施します。
- 3) 地域社会での環境活動についての取り組みを、積極的に情報公開します。
- 4) 建築現場及び事務所での電気使用量の削減によるCO2削減と節水に努める。
- 5) グリーン購入の推進と環境負荷の少ない住まい作りに努めます。
- 6) 廃材等のリサイクルに努めます。
- 7) この環境方針を全社員に周知するとともに、社会に公開していきます。

平成19年9月1日制定
代表取締役社長 蓬台 浩明

一本の映画のような家づくり



2【2008年度版】

環境目標

(2008～2011年)

- 1) 水道使用量を1%削減します。
- 2) 電気使用量を3%削減します。
- 3) ガソリン使用量を1%削減します。
- 4) LPガスの使用量を0.5%削減します。
- 5) リサイクルの可能性を追求します。
- 6) 環境危機への警告を積極的に行います。
- 7) 環境に配慮した労務環境の見直しをします。
- 8) リサイクルの可能性を追求します。
- 9) 住まい作りにおいて自然環境、素材を取り入れた住環境を提案します。
- 10) 利益の1%を自社に地球税と課し地球環境保護団体に寄付し支援する。

※次年度以降は前年度の実質数字から削減率にて算出しそれを目標値とします。



エコフェスタ/キャンドルナイト/地産地消/寄付活動/遠州灘保全/クリーン作戦/植林・間伐活動

● 事業内容

● 会社概要

① 事業所名 株式会社 都田建設

② 所在地

● 都田スクエア(本社事務所)
静岡県浜松市北区都田町2698-1番地
TEL 053-428-2750
FAX 053-428-2945
FREE 0120-12-2750
HP <http://www.miyakoda.co.jp>
E-mail info@miyakoda.co.jp

● 倉庫
浜松市北区都田町2743-2番地

● 上張ヒルズ(掛川営業所)
掛川市上張829-6番地
*今回、認証範囲に含みません。

③ 代表者 代表取締役会長 内山 覚
代表取締役社長 蓬台 浩明

④ 環境保全関係責任者及び担当者連絡先

担当者 辻村 将光
担当者 山本 紗弓
担当者 伊藤 恵理

⑤ 事業内容 建設業(木造注文住宅建設業)

⑥ 設立年月 平成8年4月(1996年)

⑦ 事業規模 資本金 2,000万円

売上高 11期:13.6億円(平成18年3月~平成19年2月)
12期:15.3億円(平成19年3月~平成20年2月)
13期:17.5億円(平成20年3月~平成21年2月)

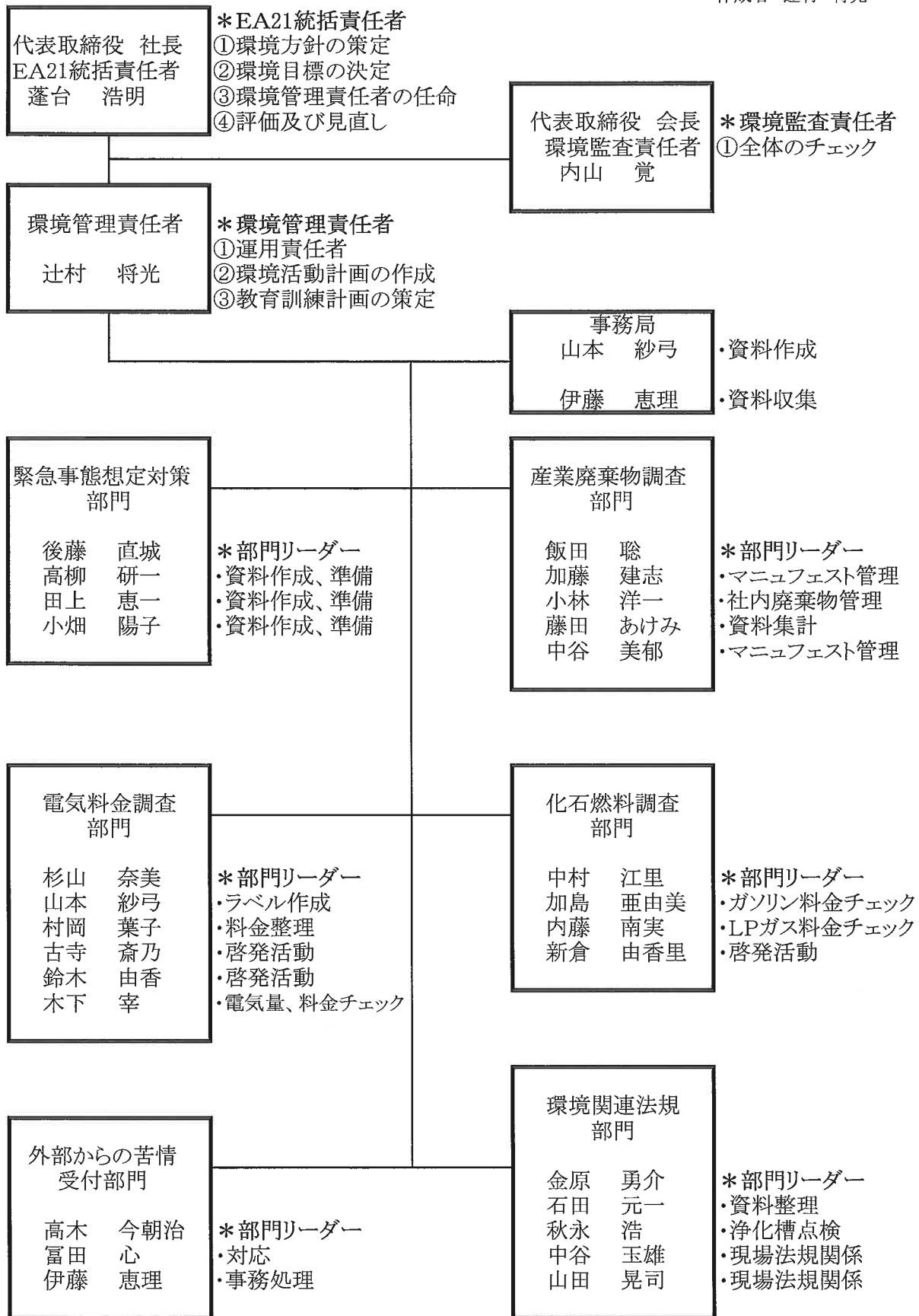
⑧ 床面積 都田スクエア :139.75㎡(42.27坪)
倉庫兼打合せ棟 :166㎡(50.21坪)
倉庫 :72㎡(21.78坪)

⑨ 従業員 32名(5月31日現在)

平成21年5月31日発行
作成者 辻村 将光

●組織図(エコアクション21 体制図)

平成21年5月31日発行
作成者 辻村 将光



●目標と実績との比較（2008年度）

2008年度（平成20年3月～平成21年2月）の目標に対する実績を比較してみました。

*売上高での負荷量割合を数値基準の目標とします。

*△はUP・▼はDOWNを表します。

●都田スクエア（本社事務所）

項目			単位	13期（目標値） 平成20年3月 ～平成21年2月		13期（実績値） 平成20年3月 ～平成21年2月
二酸化炭素排出量	購入電力量	単純使用量	kWh	42,166	105.0%△	44,289
		売上高当り	kWh/百万円	29	87.2%▼	25.3
	ガソリン量	単純使用量	ℓ	13,405	120.7%△	16,181
		売上高当り	ℓ/百万円	8.76	105.4%△	9.24
	LPガス	単純使用量	Kg	32.9	102.5%△	33.74
		売上高当り	kg/百万円	0.0021	90.4%▼	0.0019
二酸化炭素排出量合計		CO2排出量合計	kg-CO2/百万円	51.5	96.7%▼	49.84
水道使用量	使用量	単純使用量	m ³	221	157.4%△	348
		売上高当り	m ³ /百万円	0.164	120.7%△	0.198
産業廃棄物排出量	排出量	単純排出量	t	0.47	102.1%△	0.48
		売上高当り	t/百万円	0.034	79.4%▼	0.027
環境負荷の少ない 住まい作り	ダイアトーマス	単純棟数	棟数	40	75%▼	30
	天竜杉	単純棟数	棟数	8	80%▼	0

2008年度（平成20年3月～平成21年2月）の目標に対する実績を比較してみました。

*売上高での負荷量割合を数値基準の目標とします。

*△はUP・▼はDOWNを表します。

●建設現場（各現場）

項目			単位	13期（目標値） 平成20年3月 ～平成21年2月		13期（実績値） 平成20年3月 ～平成21年2月
二酸化炭素排出量	購入電力量	単純使用量	kWh	*購入電力は現在定額制にて実施の為把握が出来ません。 *現場でガソリンを使用しての作業は特にありません。 *現場でLPガスを使用しての作業は特にありません。		
		売上高当り	kWh/百万円			
	ガソリン量	単純使用量	ℓ			
		売上高当り	ℓ/百万円			
	LPガス	単純使用量	Kg			
		売上高当り	kg/百万円			
二酸化炭素排出量合計		CO2排出量合計	kg-CO2/百万円	*水道使用量は現在定額制にて実施の為把握が出来ません		
水道使用量	使用量	単純使用量	m ³			
		売上高当り	m ³ /百万円			
産業廃棄物排出量	排出量	単純排出量	t	660.80	127.9%△	845.62
		売上高当り	t/百万円	0.43	137.1%△	0.48

平成21年5月31日発行
作成者 辻村 将光

●環境目標（平成18年3月～平成24年2月）4年間分

・都田スクエア（本社事務所）

▼基準年

項目			単位	11期 平成18年3月 ～平成19年2月	13期 平成20年3月 ～平成21年2月	14期 平成21年3月 ～平成22年2月	15期 平成22年3月 ～平成23年2月	16期 平成23年3月 ～平成24年2月
二酸化炭素排出量	購入電力量	単純使用量	kWh	40761	42166	40901	39673	38482
		売上高当り	kWh/百万円	30	29.07	28.19	27.34	26.50
	ガソリン量	単純使用量	ℓ	14700	13405	13270	13137	13005
		売上高当り	ℓ/百万円	10.8	8.76	8.67	8.58	8.49
	LPガス	単純使用量	Kg	12.42	32.90	31.25	29.68	28.19
		売上高当り	kg/百万円	0.0091	0.0021	0.0019	0.0018	0.0017
二酸化炭素排出量合計		CO2排出量合計	Kg-CO2/百万円	42.7	51.50	49.95	48.45	46.90
水道使用量	使用量	単純使用量	m ³	226	221	219	216	214
		売上高当り	m ³ /百万円	0.166	0.164	0.161	0.159	0.157
産業廃棄物排出量	排出量	単純排出量	t	0.48	0.47	0.47	0.46	0.45
		売上高当り	t/百万円	0.035	0.034	0.034	0.033	0.032
環境負荷の少ない 住まい作り	ダイアトーマス	単純棟数	棟	0	40	54	70	88
	天竜杉	単純棟数	棟	0	8	10	13	15

* 2006年度(平成18年3月～平成19年2月・11期)

・建設現場（各現場）

▼基準年

項目			単位	11期 平成18年3月 ～平成19年2月	13期 平成20年3月 ～平成21年2月	14期 平成21年3月 ～平成22年2月	15期 平成22年3月 ～平成23年2月	16期 平成23年3月 ～平成24年2月
二酸化炭素排出量	購入電力量	単純使用量	kWh	* 購入電力量に関する把握は困難な為 ブレーカーからの入切による節電を心掛ける。 * 現場でのガソリンを使用する作業は特にありません。 * 現場でのLPガスを使用する作業は特に				
		売上高当り	kWh/百万円					
	ガソリン量	単純使用量	ℓ					
		売上高当り	ℓ/百万円					
	LPガス	単純使用量	Kg					
		売上高当り	kg/百万円					
二酸化炭素排出量合計		CO2排出量	kg-CO2/百万円					
水道使用量	使用量	単純使用量	m ³	* 水道使用量の現場での把握は困難な為 節水を心掛ける。				
		売上高当り	m ³ /百万円					
産業廃棄物排出量	排出量	単純排出量	t	1542.71	660.8	654.19	647.64	641.16
		売上高当り	t/百万円	1.134	0.43	0.425	0.42	0.4158
環境負荷の少ない 住まい作り	ダイアトーマス	単純棟数	棟	0	40	54	70	88
	天竜杉	単純棟数	棟	0	8	10	13	15

* 2006年度(平成18年3月～平成19年2月・11期)

* 2008年度(平成20年3月～平成21年2月・13期)

* 2009年度(平成21年3月～平成22年2月・14期)

* 2010年度(平成22年3月～平成23年2月・15期)

* 2011年度(平成23年3月～平成24年2月・16期)

平成21年5月31日発行
作成者 辻村 将光

●取組計画と評価

平成21年5月31日発行

作成者 辻村 将光

目標に対する評価は2008年3月～2009年2月の1年間のデータを元に評価しました。

具体的な活動内容	評 価	担当
<p>●水道使用量を1%削減する。</p> <p>13期目標数値 221m³ 売上高あたりの目標数値 0.164</p> <p>活動内容</p> <p>1) 節水を啓発するラベルを貼る。 2) 散水や手洗い極力、雨水タンクを利用する。 3) 2012年までに井戸を採掘し、90%以上を地下水でまかなう様にする。 4) 節水器具を取り付ける。</p>	<p>第13期結果</p> <p>第13期数値 348m³ (157%up) 売上表記 0.198 (120.7%up)</p> <p>評価【×】</p> <p>1) 社員数が増えたので単純に使用量が増加してしまった。 2) 社内への節水への意識を高める方法が低かった。</p>	<p>辻村</p>
<p>●電気使用量を3%削減します。</p> <p>目標数値 42,166Kwh 売上高あたりの目標数値 29.07</p> <p>活動内容</p> <p>1) お昼休みの消灯徹底。 2) 電球を省エネルギータイプに交換する。 3) スイッチにネームを表示し必要に応じた箇所だけ使用する。 4) 太陽光発電の設置(5.4Kw) 5) グリーン電力(5000Kwh)購入の継続 6) エアコンの温度設定 夏28℃ 冬22℃の設定 7) 外出時や帰宅時のパソコン待機電力をOFFにする。</p>	<p>第13期数値 44,289Kwh (105%up) 売上表記 25.3 (87.2%down)</p> <p>評価【△】</p> <p>1) 電気の消し忘れが多かった。 2) 待機電力への意識が少なかった。 3) 社員数の増加が使用量の増加につながった。</p>	<p>杉山 山本 木下 村岡 古寺</p>
<p>●ガソリンの使用量を1%削減します。</p> <p>目標数値 13,405ℓ 売上高あたりの目標数値 10.69ℓ</p> <p>活動内容</p> <p>1) 社用車を2台ハイブリッドカーへシフトする。 2) アイドリングストップ励行と各車両にECOシールを貼り急加速、急停止をしない様な運転をする。</p>	<p>第13期数値 16,181ℓ (120.7%up) 売上表記 9.24ℓ (105.4%down)</p> <p>評価【△】</p> <p>1) 現場への移動時間が多く無駄な燃料消費につながった。 2) 具体的に減らしていく数値を明確に出来なかった。</p>	<p>中村 新倉 加島 内藤</p>

具体的な活動内容	評 価	担当
<p>●LPガス使用量を0.5%削減する。</p> <p>目標数値 32.9Kg 売上高あたりの目標数値 0.0021kg</p> <p>活動内容 1) 節ガスを啓発するラベルを貼る。 2) お湯はアクアクララを使用する。</p>	<p>第13期結果</p> <p>第13期数値 33.74Kg (102.5%up) 売上表記 0.0019kg (90.4%down)</p> <p>評価【△】 1) 社員数の増加による使用量の増加。 2) シングル水栓による無意識のお湯使用。 3) お客様数増加による使用量の増加。</p>	<p>中村 新倉 加島 内藤</p>
<p>●リサイクル可能、環境に配慮した事務用品へ転換する。</p> <p>活動内容 1) コピー用紙は古紙70%以上の紙に全て切り替える。 2) 石鹼、洗剤は無添加の物に全て切り替える。 3) ホッチキスは必要以上に使用しない。 4) 紙類の破棄は全てシュレッダーにする。</p>	<p>【評価方法】 1棟(100㎡)換算で何トンの廃棄物が出ているのかを把握して、削減目標を計算する手法を社内検討している。 過去のデータを調べると、10期(1,542.71t)11期(233.23t)、12期(667.48t)と工事受注内容により廃棄物量が著しく変動する事が分かりました。木くず、コンクリートなどの再生利用のルートが確立されている事も分かりました。 再生利用の可能性はあるが、現状では焼却されている廃プラスチックについて再生利用率の向上を図る様に検討していく。</p> <p>評価【○】</p>	<p>中谷み</p>
<p>●環境危機への警告を積極的に行います。</p> <p>活動内容 1) 年3回のイベントのテーマを「環境」として地域住民の方々やお客様に訴えていく。 2) 社員にmy箸を支給する。社員は常時携帯し環境をPRしていく。 3) my水筒を奨励する 4) 現場等で出る端材を利用して木工教室を行う。 5) リパーククリーンを年1回行う。 6) チラシ作り際には積極的に環境に対しての自社の取り組みを公開していく。</p>	<p>評価【○】 1) 春祭り・夏祭り・キャンドルナイトを通じ地域住民の方々へのPRが出来ました。 2) 社員全員My箸を持っています。 3) My水筒への働きかけは継続していく。 4) 3ヶ月に1度木工教室を開催していきます。 5) 春祭り終了時に参加者による都田川の清掃を実行しました。 6) 当社の環境に対する取組みを紹介するチラシを定期的(2回/月)に発行しています。</p>	<p>蓬台</p>

具体的な活動内容	評 価	担当
<p>●環境に配慮した労務環境の見直しをします。</p> <p>活動内容 1)ユニフォームは季節に合わせて4パターンを支給し自由に選択できるようにする。 2)早朝フレックスタイム制を導入する。 3)自転車通勤を奨励する。 (スタッフ用シャワールームの設置)</p>	<p>評価【○】 1)ユニフォームは4パターン支給しました。 2)AM7:00～PM4:00の弊社A出社の勤務体系の確立。 3)シャワールーム設置を完了しました。</p>	<p>蓬台</p>
<p>●廃材等リサイクルに努めます。</p> <p>活動内容 1)コピー用紙の裏紙使用を徹底する。 2)ダンボール、紙のリサイクル率を上げる。</p>	<p>評価【△】 1)社内回覧文書は裏紙利用を100%にしました。 2)ダンボールのリサイクル率は100% 紙は溶解処理率75%でした。</p>	<p>各部署</p>
<p>●住まい作りにおいて自然環境、素材を取り入れた住環境を提案します。</p> <p>活動内容 1)太陽光発電を社屋に設置し、2009年には10%のお客様に提案する。 2)健康塗壁「ダイアトーマス」を積極的に使用していく。 2009年には60%、2012年には90%にする。 3)天竜材(無垢・集成材)を使った家作りを増やす。 2009年には10%、2012年には15%にする。</p>	<p>対象期間：2008年3月～2009年2月</p> <p>評価【△】 1)太陽光発電に関しては、2棟/73棟 2)ダイアトーマスに関しては30棟/73棟 3)天竜材に関しては1棟/70棟</p>	<p>各部署</p>

具体的な活動内容	評 価	担当
<p>●利益の1%を自社に地球税と課し地球環境保護団体に寄付し支援する。</p> <p>活動内容 1)環境イベントにおいて収益金と税引前経常利益の1%を毎年地球環境保護団体に寄付をする。</p>	<p>評価【○】 1)2008年度 5つの団体への寄付をしました。 ・支援センター わかさぎ ・森林環境基金 ・メイク・ア・ウッシュオブジャパン ・財団法人 日本盲導犬協会 ・国境なき医師団日本</p>	<p>内山 蓬台</p>

●環境関連法規への違反、訴訟等の有無
①各遵守項目の一覧及び内容

法令の名称	遵守すべき内容	確認事項	遵守状況	チェック日
騒音規制法	・敷地境界線での規制基準	・作業時間が一定ではないが、7:30以前18:00以降の作業は避ける。	○	H21.5.31
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・処理業者との契約、マニフェスト伝票の交付	・委託業者各社マニフェストを使用し、管理する。	○	H21.5.30
	・産業廃棄物管理責任者の設置 *静岡県条例	・各現場毎に管理責任者の設置をしマニフェスト管理をする。	○	H21.5.30
	・産業廃棄物管理票の記録及び保存	・1年毎に閉鎖し、閉鎖管理票を5年間保存しているか？	○	H21.5.30
	・保管施設の表示と保管基準の遵守	・保管基準の表示がしっかり明示されているか？	△	H19.9.1
浄化槽法	・保守点検業務は委託契約	・3ヶ月に一度保守点検を実施しているか？	△	H21.4.30
		・点検記録表を作成記入しているか？	△	H21.5.30
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するように努める。	・環境物品(グリーン商品)を選択するようにする。	○	H19.9.1
建設リサイクル法	・解体工事-延床面積80㎡以上 新築工事-延床面積500㎡以上 の場合の届出及び契約	・契約手続き及び施工1週間前の届出をしっかりと守られているか？	○	H21.5.30
騒音規制法	・騒音規制基準の遵守	・特定作業時間を遵守しているか？	○	H20.5.30

*当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反等はありませんでした。
関係機関からの指摘、訴訟等もありませんでした。

平成21年5月31日発行
作成者 辻村 将光

●環境活動の取組計画

●2008年度の環境活動となります。都田スクエアー（本社事務所）

平成20年3月1日発行
作成者 辻村 将光

	取組内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月
C02 削減 購入電力	1] お昼休みの消灯の徹底	継続	→	→	→	→	→
	2] スイッチにネームを表示し必要に応じた箇所だけ使用する。	継続	→	→	→	→	→
	3] 太陽光発電の設置(5.4kW)。	継続	→	→	→	→	→
	4] グリーン電力(5000kWh)購入の継続。	継続	→	→	→	→	→
	5] エアコンの温度 夏28℃ 冬22℃の設定。	継続	→	→	→	→	→
	6] 外出時や帰宅時のパソコン待機電力をOFFにする。	継続	→	→	→	→	→
ガソリン使用量	1] 品質管理者の現場に行く回数とECCコンールを貼付、急停車急発進をしない様な運転をする。	継続	→	→	→	→	→
	2] アイドリングストップの励行とECCコンールを貼付、急停車急発進をしない様な運転をする。	継続	→	→	→	→	→
LPGガス使用量	1] ガスを啓発するラベルを貼る。	継続	→	→	→	→	→
	2] お湯はアケアラテを使用する。	継続	→	→	→	→	→
水道使用量	1] 節水啓発ラベルを貼る。	継続	→	→	→	→	→
	2] 散水や手洗いは極力、雨水タンクを使用する。	継続	→	→	→	→	→
	3] 2012年までに井戸を採掘し、90%以上を地下水でまかなう。	継続	→	→	→	→	→
	4] 節水器具を取り付ける。	継続	→	→	→	→	→
リサイクル可能 環境に配慮した 事務用品へ転換	1] コピー用紙は古紙70%以上の紙に全て切り替える。	継続	→	→	→	→	→
	2] 石鹸洗剤は無添加の物に全て切り替える。	継続	→	→	→	→	→
	3] ホッチキスは必要以上に使用しない。	継続	→	→	→	→	→
	4] 溶解処理を加えなるべく再利用に廻す。	説明	→	→	→	→	→
環境危機への 警告を積極的に 行います。	1] 年3回のイベントのテーマを「環境」として地域住民の方々やお客様に訴えていく。	継続	→	→	→	→	→
	2] 社員にMyお箸を支給する。社員は常時携帯し、環境をPRしていく。	継続	→	→	→	→	→
	3] My水筒を奨励する。	継続	→	→	→	→	→
	4] 現場等で出る端材を利用して木工教室を開催する。	継続	→	→	→	→	→
	5] リバークレーンを年1回行う。	継続	→	→	→	→	→
	6] チャレンジの際には積極的に環境に対しての自社の取り組みを公開していく。	継続	→	→	→	→	→

・都田スクエア（本社事務所）

取組項目	取組内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月
環境に配慮した 労務環境の見直し をします。	1]ユニフォームは季節に合わせて4パターンを支給し自由に選択出来る様にする。 2]早朝フレックスタイトム制を導入する。 3]自転車通勤を奨励する。(スタッフ用シャワーームの取付け)	継続	→	→	→	→	→
廃材等のリサイクル に努めます。	1]ゴミの分別ルールを明確にする。 2]コピー用紙の裏紙使用を徹底する。 3]ダンボール、紙のリサイクル率を上げる。 4]産業廃棄物業者の選定・見直しを行いリサイクル率を上げる。	継続 説明	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →
住まい作りに おいて自然環境 素材を取入れた 住環境を提案 します。	1]太陽光発電を社屋に設置し、お客様に提案しやすい環境を作る。 2]健康塗り壁「ダイアトーム」を積極的に使用していく。 2009年には60%、2012年には90%にしていく。 3]天竜材（無垢・集成材）を使った家作りを増やす。 2009年には10%、2012年には15%にする。	継続 継続	→ →	→ →	→ →	→ →	→ →
利益の1%を自社 に地球税と課し 地球環境保護 団体に寄付し 支援する。	1]利益の1%を自社に地球税と課し地球環境保護団体に寄付し支援する。	継続	→	→	→	→	→
・建設現場（各現場）							
取組項目	取組内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月
購入電力	1]電源の切入は仮設ブレーカーで行う。 2]お昼休憩の際、工具の電源は仮設ブレーカーで行う。 3]8:30～17:00の作業時間を守る。 4]現場掲示物に節電項目を追加する。	説明 説明 説明 説明	→ → → →	→ → → →	→ → → →	→ → → →	→ → → →
水道使用量	1]節水を心がける。 2]現場掲示物に節水項目を追加する。	説明	→	→	→	→	→
産業廃棄物 排出量	1]分別カードを産業廃棄物箱に貼り付ける。 2]細かく切断して産業廃棄物箱に投入する。 3]現場掲示物にゴミを出さない意識付け項目を追加する。	説明 説明 説明	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →	→ → →

●環境活動の取組計画

●2008年度の環境活動となります。都田スクエアー（本社事務所）

平成21年5月31日発行
作成者 辻村 将光

C02 削減 購入電力	取組内容	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		1]お昼休みの消灯の徹底 2]スイッチにネームを表示し必要に応じて箇所だけ使用する。 3]太陽光発電の設置(5.4kW)。 4]グリーン電力(5000kWh)購入の継続。 5]エアコンの温度 夏28℃ 冬22℃の設定。 6]外出時や帰宅時のパソコン待機電力をOFFにする。	継続	→	→	→	→
	1]品質管理者の現場に行く回数を20%削減する。 2]アイトリプグスタップの励行とECOシールを貼り、急停車急発進をしない様な運転をする。	継続	→	→	→	→	→
ガソリン使用量	1]節ガスを啓発するラベルを貼る。 2]お湯はアークアラを使用する。 1]節水啓発ラベルを貼る。 2]散水や手洗いには極力、雨水タンクを使用する。 3]2012年までに井戸を探掘し、90%以上を地下水でまかなう。 4]節水器具を取り付ける。	継続	→	→	→	→	→
LPガス使用量	1]コピー用紙は古紙70%以上の紙に全て切り替える。 2]石鹸洗剤は無添加の物に全て切り替える。 3]ホッチキスは必要以上に使用しない。 4]溶解処理を加えなるべく再利用に廻す。	継続	→	→	→	→	→
水道使用量	1]年3回のイベントのテーマを「環境」として地域住民の方々やお客様に訴えていく。 2]社員にMYお箸を支給する。社員は常時携帯し、環境をPRしていく。 3]MY水筒を奨励する。 4]現場等で出る端材を利用して木工教室を開催する。 5]リバーカーンを年1回行う。 6]チラシ作りの際には積極的に環境に対しての自社の取り組みを公開していく。	継続	→	→	→	→	→
リサイクル可能 環境に配慮した 事務用品へ転換		継続	→	→	→	→	→
環境危機への 警告を積極的に 行います。		継続	→	→	→	→	→

・都田スクエア（本社事務所）

取組項目	取組内容	9月	10月	11月	12月	1月	2月
環境に配慮した 労務環境の見直し をします。	1] エコファームは季節に合わせて4シーズンを支給し自由に選択出来る様にする。	継続	→	→	→	→	→
	2] 早朝フレックス導入する。	継続	→	→	→	→	→
	3] 自転車通勤を奨励する。(スタッフ用シャワールームの取り付け)	継続	→	→	→	→	→
	1] エミの分別ルールを明確にする。	説明	→	→	→	→	→
廃材等のリサイクル に努めます。	2] エピー用紙の裏紙使用を徹底する。	継続	→	→	→	→	→
	3] ダンボール、紙のリサイクル率を上げる。	継続	→	→	→	→	→
	4] 産業廃棄物業者の選定・見直しを行いリサイクル率を上げる。	継続	→	→	→	→	→
	1] 太陽光発電を社屋に設置し、お客様に提案しやすい環境を作る。	継続	→	→	→	→	→
住まい作りに おいて自然環境 素材を取入れた 住環境を提案 します。	2] 健康塗り壁「ダイアトーム」を積極的に使用していく。 2009年には60%、2012年には90%にしていく。	継続	→	→	→	→	→
	3] 天竜材(無垢・集成材)を使った家作りを増やす。 2009年には10%、2012年には15%にする。	継続	→	→	→	→	→
	1] 利益の1%を自社に地球税と課し地球環境保護団体に寄付し支援する。	継続	→	→	→	→	→
利益の1%を自社 に地球税と課し 地球環境保護 団体に寄付し 支援する。							

・建設現場(各現場)

取組項目	取組内容	9月	10月	11月	12月	1月	2月
購入電力	1] 電源の入切は仮設ブレーカーで行う。	説明	→	→	→	→	→
	2] お昼休憩の際、工具の電源は仮設ブレーカーで行う。	説明	→	→	→	→	→
	3] 8:30~17:00の作業時間を守る。	説明	→	→	→	→	→
	4] 現場掲示物に節電項目を追加する。	説明	→	→	→	→	→
水道使用量	1] 節水を心がける。	説明	→	→	→	→	→
	2] 現場掲示物に節水項目を追加する。	説明	→	→	→	→	→
	1] 分別カードを産業廃棄物箱に貼り付ける。	説明	→	→	→	→	→
産業廃棄物 排出量	2] 細かく切断して産業廃棄物箱に投入する。	説明	→	→	→	→	→
	3] 現場掲示物にゴミを出さない意識付け項目を追加する。	説明	→	→	→	→	→

●代表者による見直し記録

エコアクションに取り組み2年目となり各部署の活動に対しての目標が明確になってきました。完工棟数の増加により各エネルギーの使用量や廃棄物の排出量が増えているのが現状ですが単純に数字を追いかけるのではなく継続の出来る現実的な目標を掲げる事に気を配って行きたいと思います。

まずは環境方針・理念からですが、これは「青い地球を、永遠に！」を2011年まで継続した方針として変わらず続けて行きたいと思います。

次に環境目標についてです。エコアクションを意識して取り組み始め1年が経過しました。まだまだ取り組み目標の一つ一つの事柄に対しての意識が各社員に行き届いていないと思います。再度各部門毎に取り組みに対しての目標や成果など目に見える様にし、他部門にも現状などを把握しお互い意識できる様な仕組みを作っていきたいと思います。

故に環境活動計画に至りましても2010年の更新審査時に再度見直して行きたいと思っております。環境活動計画に対しても当事者である一人一人の意識がとても重要で各担当がどれだけ真剣に向き合えるかが大事な事だと感じますし、弊社は建設業となり1棟を建築するにあたりたくさんのお客様（業者）さんがいます。

現場に至りましては年4回ある棟梁会の際には環境問題を議題の一つに挙げ意識付けをしていきたいと思っております。具体的にはより細かく分別していけるような工夫を各個人に意見をだしてもらい実行していきたいと思っております。

この見直し記録を元に2009年度、新たに取り組む活動計画としましては以下の事を考えております。

- 各担当者にはより明確な具体的な行動を落とし込んでいきたいと思っております。
- 社内でも環境に対する情報発信をしていきたいと思っております。
- 環境関連セミナーや会合への出席機会を増やす。
- 災害の際の最初の判断が誰でも分かるような訓練の実施。
- グリーン電力やグリーン購入を積極的に増やしていきたいと思っております。

最後に認証範囲に加える予定でした掛川市の上張ヒルズの支店機能は見合わせる事としますので認証登録は致しません。

平成 21年 5月 31日

株式会社 都田建設

代表取締役社長 蓬台 浩明